

向日神社って？



西国街道に面した鳥居をくぐると、丘に向かって真っすぐのびる参道があります。登りつめたところにあるのが向日神社です。
 平安時代の『延喜式神名帳』（927年成立）の山城国乙訓郡の部分に「山城国乙訓郡向日神社」と記されている格式の高い古社で、向日町北山の丘陵先端に位置します。神社には718年（養老2）に建てられたという伝承があります。

向日神社の神様

本殿前には、神社の由来や祀られた神様の名前が書かれた札が立てられています。向日神、火雷神、玉依姫命、神武天皇という神様で、最初に祀られたのが向日神です。『向日二所社御鎮座記』という記録では、御歳神という神様が「向日山」に鎮座されたことから向日神となったと伝えています。

また下ノ社には、火雷神が祀られ、養老2年の社殿建築の際には、妃の玉依姫命と神武天皇も同じ下ノ社に祀られました。

1275年（建治元）、火雷神社（下ノ社）を向日社（上ノ社）に合わせて祀り、現在の向日神社が誕生したといわれます。



向日神社の重要文化財

長い歴史をもつ向日神社には、国が指定した重要文化財が残されています。これらは、神社の建築様式や歴史研究の基礎資料になっています。

- 国指定文化財
- 向日神社本殿 (明治35年指定)
 - 紙本墨書日本書紀神代紀下巻 (明治42年指定)
 - 本殿棟札 (昭和61年追加指定)



▲本殿棟札。神社が建てられた年月日などを記し、取り付けられた木の札です。

向日神社での催し

イベントもりだくさん!!

- 1月 初詣
- 2月 節分祭 初午祭
- 4月 桜まつり
- 5月 例大祭 氏子祭 (祭礼)
- 7月 夏越の祓
- 10月 御火焚祭
- 11月 七五三詣...etc.



境内を散歩すると楽しいよ!

交通アクセス

阪急西向日駅より徒歩約10分

アクセス



向日神社

むこう ひんびゃ



発行 向日市教育委員会

〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野20番地 TEL.075-931-1111

向日神社ってこんなところ!

本殿

本殿は、舞楽殿の西側に位置し、東を正面として建てられています。建物の形は「三間社流造」です。棟札から、室町時代の1422年(応永29)に建てられたことがわかっており、全国的に見ても古い例になります。明治神宮の本殿は、向日神社の本殿をモデルにしたともいわれています。本殿のすぐ前には、神様への捧げ物を置く幣殿、その前には拝殿(お参りする場所)が続き、本殿はこれらの建物と一体となっている覆屋の中に現在はあるため、外から見ることはできません。



神社の中心の建物だよ。覆屋には葵の紋が入った瓦があるよ!



拝殿のすがた

拝殿は、桁行5間(約9m)、梁行2間(約3.6m)の入母屋造りの建物です。前拝(正面中央から見上げた所)の屋根は向唐破風、檜皮葺きという格式ある形に仕上げられています。



神様に踊りを奉納する所

本殿の向きが変わった!?

現在の本殿は東が正面ですが、もともとは南向きに建てられていました。1735年(享保20)に描かれた境内の絵図には、本殿をおおう建物はなく、南が正面になっています。神社の古文書を調べると、1831(天保2)~1842年(天保13)にかけて、東の参道と向き合うように本殿の配置をかえたことがわかりました。

南ってことは…最初はこっちが正面だったんだ。



当時、西国街道筋が繁栄したから、向きをかえたんてしょうね。



境内に注意して足元を探索しよう!

以前の**本殿**があった場所。戦前まで土俵があったんだよ!

行者のきよめの場所でした。

伝説 増井の井戸

150年以上も昔、浪速の国(今の大阪)で、大きな火災が起こりました。神様のお告げにより「増井の井戸」から水をくみ、火にかけると火事はたちまちおさまったと伝えられます。遠方から訪れる人も多い名所です。



参道・境内

御影石が敷かれた200メートルほどの参道は、桜や紅葉など四季折々の美しさを見せてくれます。また、緑に恵まれた広い境内は、隣接する勝山公園とともに、市民の憩いの場として親しまれています。

学業成就を願う神様



村の人たちにとって、大事な存在だったのね。



村の守り神として 中世の向日神社

中世の乙訓の村々は、戦乱の世の中を生き抜くために協力していました。1480年(文明12)、当地の農民は、生活を立て直すために立ち上がりました(土一揆)。彼らは、向日神社に結集し、神の前で一揆の誓いをかわして神水をのみました。中世の向日神社は、村の守り神として地域の象徴的存在になっていました。



商売繁盛の神様ごす!

※は国登録有形文化財

幕末の向日神社神職、六人部は香は有名な国学者で坂本龍馬なども親交があったといわれています!

